



第10回日本水道協会九州地方支部 合同防災訓練を開催しました！



この訓練は東日本大震災時の支援活動を契機に、九州地方支部管内における災害発生時の相互応援体制を確立することを目的として平成24年から九州各県持ち回りで行われており、今回は初の沖縄開催となり那覇市において令和5年11月8日に実施しました。

参加人数は九州・沖縄から23事業体64人で、給水車は九州から船便で運搬した3台を含め合計6台を活用し、那覇市内の3つの小学校（泊小学校、天久小学校、真嘉比小学校）の4年生の児童の皆さん（325人）にご参加いただき、応急給水訓練を実施しました。今回の小学校での訓練を通じて児童の皆さんと一緒に、災害時の備え、水の大切さなど、防災について考えることができました。

なお、上下水道局では今後も定期的に独自の訓練を実施し、防災体制の強化に努めてまいります。



日本水道協会九州地方支部
合同防災訓練開会式 開催地代表挨拶



日本水道協会九州地方支部合同防災訓練開会式 応援隊整列



給水車への充水作業



給水袋の背負い体験



仮設給水栓を用いた給水訓練



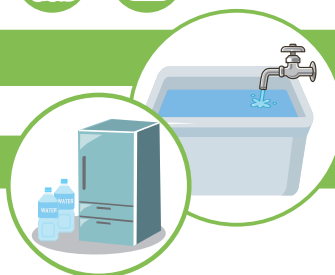
小学校での応急給水訓練閉会式

【お問い合わせ】総務課 TEL：941-7801 FAX：941-7821

災害時における水の備蓄

生活水の備蓄

お風呂やポリタンクに水を貯めておくのとトイレに使用するなど緊急時に役立ちます。



飲み水の備蓄（3日分目安）

1人1日3ℓの飲み水が必要だと言われています。
1人あたり3ℓ×3日分＝9ℓの備蓄をお勧めします。
清潔でふたができる容器に、口元まで水を入れ、満水の状態で備蓄してください。
蛇口から直接容器に入れてください。浄水器を通した水や沸騰した水は消毒用塩素が少なくなり備蓄には向きません。
塩素の消毒効果は、周りの環境にも影響を受けるため一概には言えませんが、一般的に直射日光を避けて常温で保存すれば3日程度、冷蔵庫で保存すれば10日程度持続すると言われています。それを目安に定期的に水の入れ替えをお願いします。

～災害時の備え、給水袋の紹介～

上下水道局では、災害時等の応急給水に備えて下の写真の応急給水袋を常備しています。ただし、数量に限りがありますので各ご家庭でも災害時等の応急給水を受ける容器等を備えてくださいますようご理解とご協力をよろしくお願い致します。



注水口を開ける



水を注ぐ



注水口を閉じる



水道分野における国際貢献

上下水道局では施策目標に「水道分野における国際貢献」を掲げており、平成23年度から沖縄県企業局や県内他市の水道事業体と共に独立行政法人国際協力機構（JICA）の海外水道技術者研修事業において、水道施設の維持管理分野の研修員受入れを行い、これまでサモア、トンガ、ソロモン諸島等の8カ国からのべ110人の研修員を受入れております。

また平成27年度からは、JICAのサモア・沖縄連携によるサモア水道公社維持管理能力強化プロジェクト（フェーズ1）に協力し、3回にわたり本市職員をそれぞれ約1か月間、サモア独立国へ派遣し、現地で水道施設の管理図面作成などの維持管理に係る技術指導を行ってきました。

令和5年度もサモアプロジェクト（フェーズ2）への協力で6月から約1か月間、現地へ本市職員（大瀨 拓郎）を派遣し、漏水や配水流量の調査などの技術指導を行っております。

【局内研修の様子】



局内での講義状況



局内での配管施工実技状況



サモア独立国



サモアの浄水場



現地での講義状況



現地での管理図面作成の指導状況



現地での夜間漏水調査指導状況



現地での施設管理指導状況

【お問い合わせ】企画経営課 TEL：941-7802 FAX：941-7821